



大 曾 公 園
再 整 備 基 本 計 画

本 編

令和 7 年 3 月

常 滑 市

目 次

1. はじめに.....	1
1.1 再整備の背景と目的.....	1
1.2 法改正と国の関連計画.....	2
1.3 関連計画の整理.....	3
2. 現況把握及び敷地分析.....	6
2.1 公園の概要.....	6
2.2 大曾公園の利用状況.....	8
2.3 現地踏査まとめ.....	10
2.4 本公園の長所や問題点の整理.....	15
2.5 周辺公園の分析.....	17
2.5.1 周辺公園の特徴.....	18
2.5.2 周辺公園の分析結果まとめ.....	20
2.6 現況調査結果の分析まとめ.....	21
3. 市民アンケート調査.....	22
3.1 調査概要.....	22
3.2 調査結果及び考察.....	23
3.3 分析まとめ.....	30
4. 再整備基本計画.....	31
4.1 計画内容の検討及び設定.....	31
4.1.1 再整備コンセプトの設定.....	31
4.1.2 空間構成の考え方.....	38
4.1.3 動線計画.....	40
4.1.4 その他の計画.....	42
4.2 再整備及び管理運営の事業手法の検討.....	44
4.2.1 民間事業者プレサウンディング調査.....	45
4.2.2 まとめ.....	47
5. 再整備スケジュール.....	48

1. はじめに

1.1 再整備の背景と目的

大曾公園（以下、本公園）は、市内で最大の面積を持ち、スポーツやキャンプ施設が充実した運動公園です。一部の施設は再整備されているものの、そのほかの施設は老朽化が進んでおり、子供の遊び場が不足しているなど、公園全体としての魅力が低下している状況です。

また、公園外周部は、大曾池や四季を感じられるさまざまな樹木など、豊かな自然に囲まれています。これらの魅力を十分に活かしきれておらず、見通しが悪く薄暗い箇所が多いのが現状です。

このような状況を踏まえ、社会情勢や市民ニーズを捉え、本公園の魅力を最大限に生かし、にぎわいのある場所にするための再整備方針を示します。

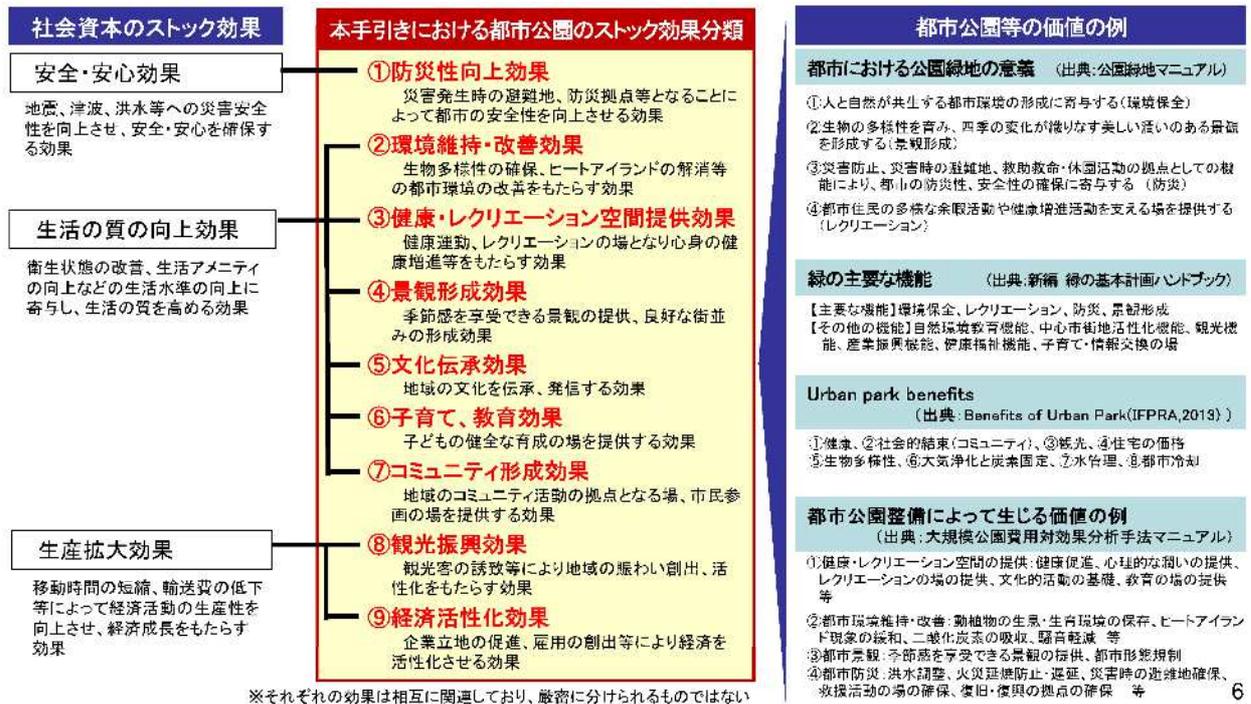


1.2 法改正と国の関連計画

(1) 都市公園のストック効果向上に向けた手引き（国土交通省）

都市公園のストック効果を十分発揮するためには、適切な維持管理、運営が必要です。

また、時代の変化やニーズの変化等に応じて、求められるストック効果が変化することもあるため、ストック効果を維持・向上させるための工夫を、都市の状況や個々の都市公園の特性等に応じ、継続的に行うことが必要としています。



※それぞれの効果は相互に関連しており、厳密に分けられるものではない

出典：平成28年、都市公園のストック効果向上に向けた手引き

1.3 関連計画の整理

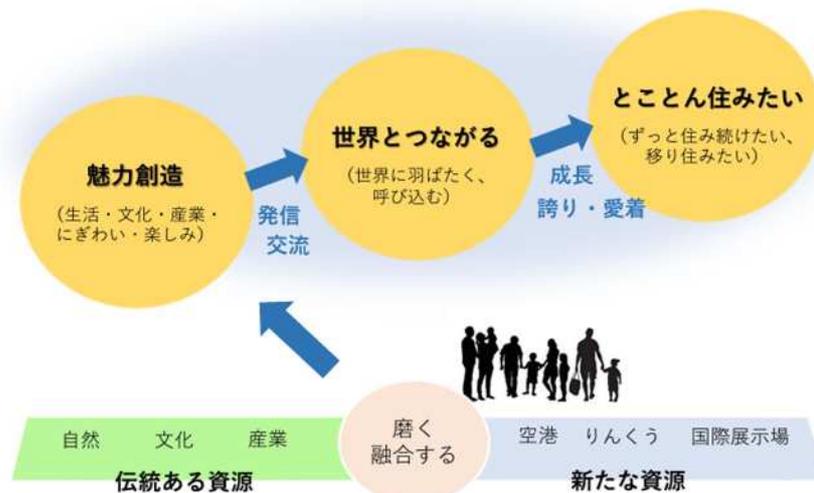
本公園に関する総合計画や都市計画マスタープランの整理を行いました。

(1) 第6次常滑市総合計画（令和4年～令和10年）

第6次常滑市総合計画は、今後のまちづくりの総合的な指針となるもので、本市における最上位の計画であり、市の将来の基本的な方向と目標、目指すまちの姿を示し、それを実現するためにまちづくり（子育て、教育、医療、防災、公共交通、観光、デジタル化など）で取り組むべきことを定める計画です。

■目指すまちの姿

とことん住みたい 世界とつながる 魅力創造都市



【目指すまちの姿のイメージ】

出典:第6次常滑市総合計画

■基本目標5 快適に過ごせる生活基盤が整備されたまち

【公園緑地・水辺空間】

施策の目的： 市民にとって憩い、ふれあいの場である公園や水辺の適正管理に努め、誰もが安心して集える環境を整備します。

都市公園や農村公園など公園施設の老朽化が進む中、地域性や市民ニーズを踏まえ、今後の在り方を適正に管理し、市民の利用を促進する必要があるとしています。

(2) 常滑市都市計画マスタープラン（令和2年～令和12年）

常滑市都市計画マスタープランは、常滑市の都市構造の将来ビジョンやその実現に向けた土地利用をはじめとする都市づくりの方針を明らかにし、本市の都市計画に関する総合的な指針です。

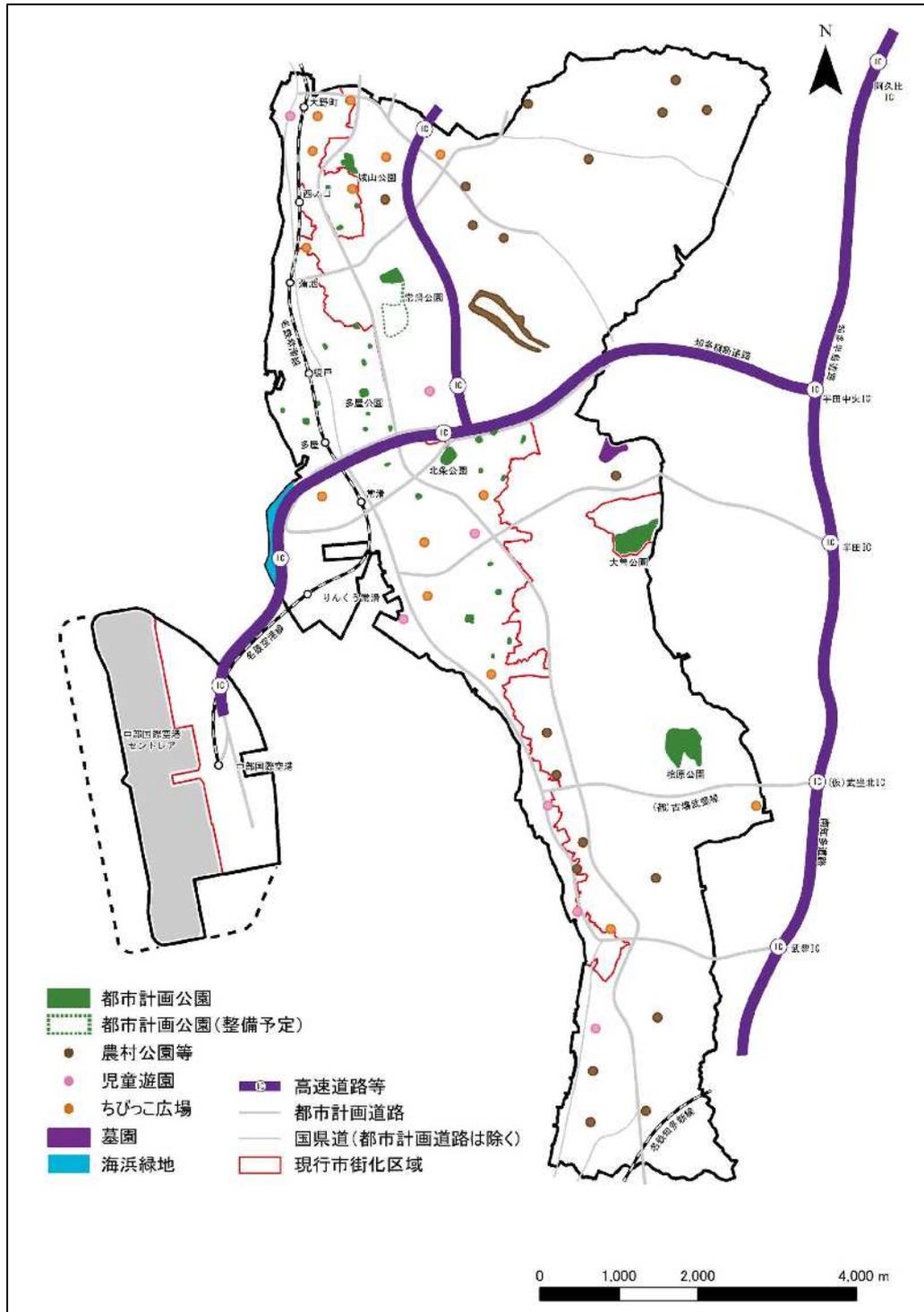
■都市づくりの目標

世界に開かれた交流と成長を支え、感動を生む都市
<ul style="list-style-type: none">・ 常滑駅周辺におけるにぎわいと活気に満ちた都市拠点の形成・ 空港島及び空港対岸部のりんくう地区における国際・広域交流拠点の形成・ 産業活動や広域・観光交流を支える道路網の形成・ やきもの散歩道周辺地区での魅力ある景観づくり・ 観光交流や市民交流をはじめとした多様な交流の促進 等
人・文化・自然を守り育み、心地よさを感じられる都市
<ul style="list-style-type: none">・ 都市基盤施設の整備・改善等による良好な居住環境の創出・ 市街地内の低未利用地・空家の有効活用に向けた取り組み等による定住促進・ 将来の人口減少を見据え、居住や都市機能が集積した拠点の形成及び公共交通等による拠点間や拠点へのアクセス性の確保・ 障がいのある人や高齢者等を念頭に、日常生活に必要な機能が身近に確保された生活圏の構築、健康・生きがいや快適な生活を支える場の形成・都市基盤施設の整備・ 市街地をとりまく農地、森林の保全・活用・ 災害に強い都市の形成・地域防災力の強化 等
ともに創り・使い、未来につなぐ都市
<ul style="list-style-type: none">・ 多様な産業立地による安定した財政収入の確保・ インフラ施設等の計画的で効率的な修繕・更新・ 市民と協働したインフラ施設等の維持管理や民間活力の導入による有効活用・ 地域住民との連携・協働による身近なまちづくりの促進 等

■都市施設整備の方針

【公園・緑地等】

都市基幹公園（桧原公園、常滑公園及び大曾公園）については、現在機能の維持・更新及び利用増進を図るとともに、常滑公園の未整備箇所を整備を検討するとしています。



【公園・緑地の整備方針図】

出典:常滑市都市計画マスタープラン

2. 現況把握及び敷地分析

2.1 公園の概要

公園面積、開設年度、公園種別、用途地域、管理・運営、主要施設、特徴、アクセス等、本公園の概要は下表のとおりです。

【大曾公園概要】

名 称	大曾公園	所在地	常滑市大曾町6丁目
面 積	17.4ha	開設年度	S57年度（都市計画決定：S45年度）
公園種別	運動公園	用途地域	第一種住居地域
防火地域	なし	建蔽率・容積率	60%・200%
管理・運営	指定管理者制度	都市施設	都市計画公園区域
主要な施設	野球場 16,900㎡ 多目的グラウンドA 9,590㎡ 多目的グラウンドB 5,097㎡ 多目的グラウンドC 5,072㎡ テニスコート（6面） 7,034㎡ 弓道場（S造） 56㎡ 温水プール（RC造） 2,548㎡ パドック 1,200㎡（※現在、養蜂場として活用） 畜舎 120㎡（※現在、製材所として活用） 公園管理事務所（S造） 79㎡ 駐車場（220台） 3,040㎡、便所（RC造） 2基 遊具 5基（ブランコ2基、滑り台2基、鉄棒1基）、パーゴラ 6基		
その他施設	大曾池（※個人所有） 展望台（※現在、利用停止中） テニスコート器具倉庫（木造） 文化財収蔵庫（RC造）、倉庫 2棟		
公園概要	<p>大曾公園は、昭和44年の野球場竣工以降、競技場、管理センター等の整備を経て、昭和57年に現在の大曾公園17.4haの供用を開始している。</p> <p>主要施設は、野球場、テニスコート、多目的グラウンド、温水プール、弓道場、駐車場であり、スポーツ利用のほか、伊勢湾を見下ろす眺望の地としてハイキング、憩いの場として市民に親しまれている。</p> <p>また、常滑市が運営するキャンプ場が隣接しており、キャンプ場を含めた有料施設の年間利用者数は、約44,000人（R5年度実績）である。</p>		
主な改修履歴	昭和57年度：供用開始 平成11年度：温水プール竣工 平成21年度：屋外プール、ミニ牧場閉鎖 平成29年度：老朽化により野球場のナイター設備撤去 令和3～4年度：屋外プール、競技場解体 多目的グラウンド3面新設 令和6年度：温水プール改修		

アクセス

- 車を利用
知多横断道路 常滑ICより約10分
知多半島道路 半田ICより約10分
- バス
名鉄常滑線「常滑駅」より、
知多バス半田行き
「窯業センター前」下車、
南へ徒歩約10分
- タクシー
名鉄常滑線「常滑駅」より
タクシーで約10分

平面図

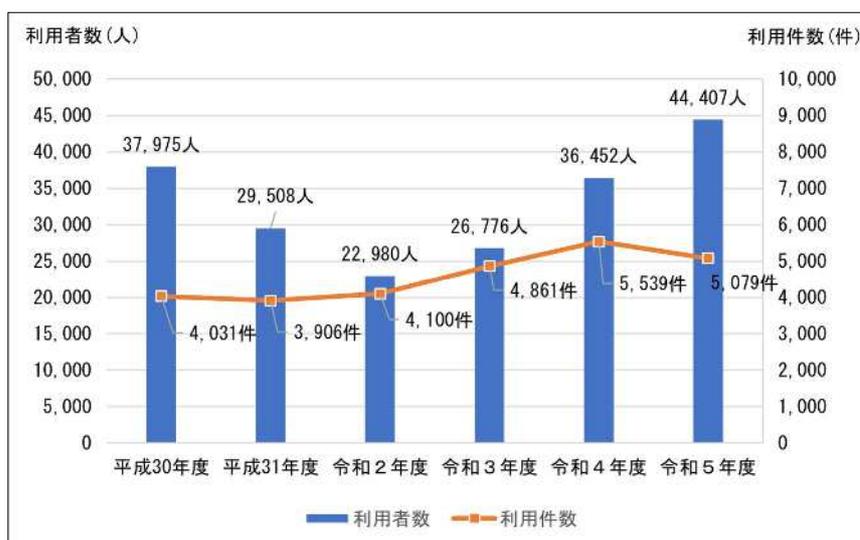
航空写真

2.2 大曾公園の利用状況

本公園の利用状況を把握するため、「令和5年度大曾公園有料施設事業報告書」を参考に、利用者数や利用目的、収入内訳について整理しました。

(1) 利用者数及び利用件数の推移

- ・平成31年度以降、コロナ禍の影響により利用者数が大幅に減少したが、令和2年度以降は利用者数が回復傾向にある。
- ・令和5年度には利用者数が44,407人と、過去5年間で最も多い。

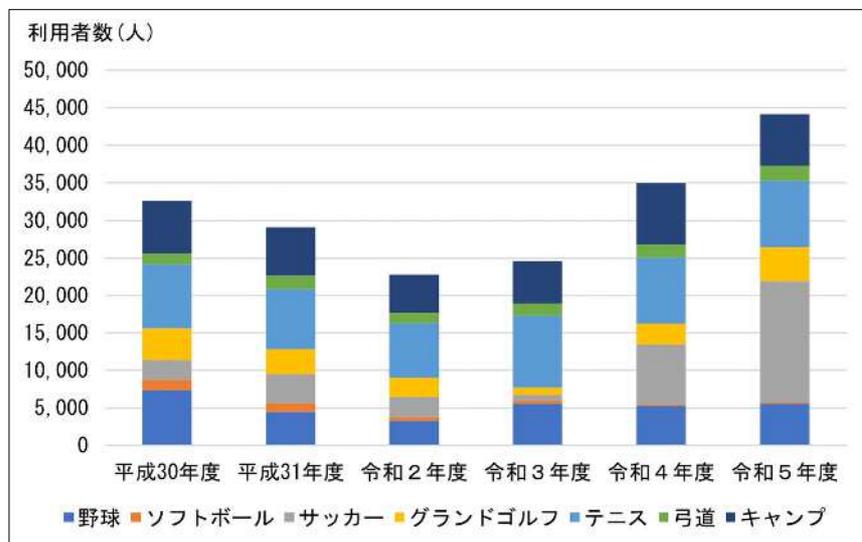


【利用者数及び利用件数の推移】

※令和5年度大曾公園有料施設事業報告書を基に作成

(2) 目的ごとの利用状況の推移

- ・コロナ禍の影響及びグラウンド再整備期間であったために、令和2～3年度にかけてサッカーやグラウンドゴルフの利用が減少したが、現在は回復傾向にある。

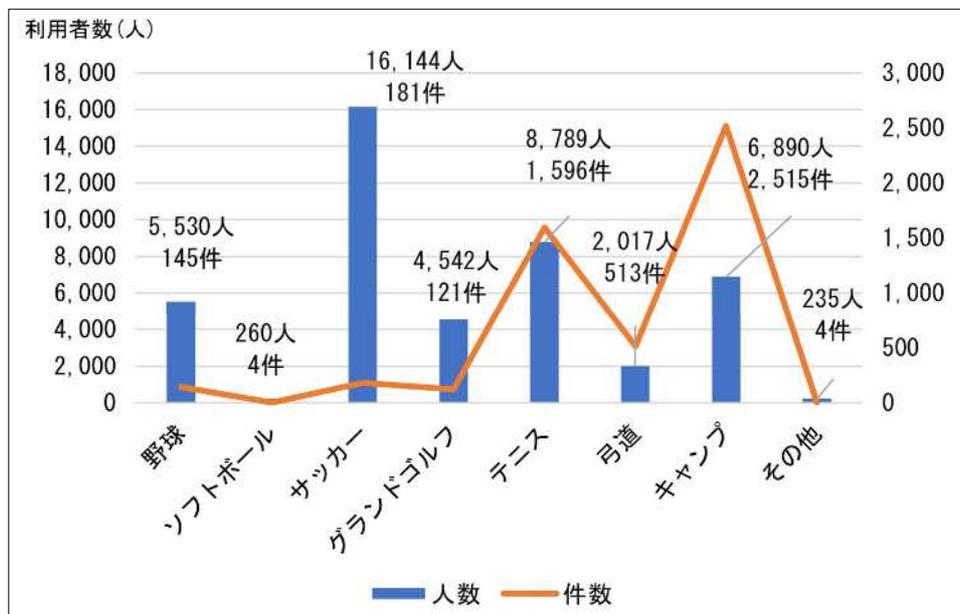


【目的ごとの利用状況の推移】

※令和5年度大曾公園有料施設事業報告書を基に作成

(3) 目的ごとの利用者数及び利用件数（令和5年度）

- ・利用者数に着目すると、サッカー、テニス、キャンプの順に多い。
- ・利用件数に着目すると、キャンプ、テニス、弓道の順に多い。

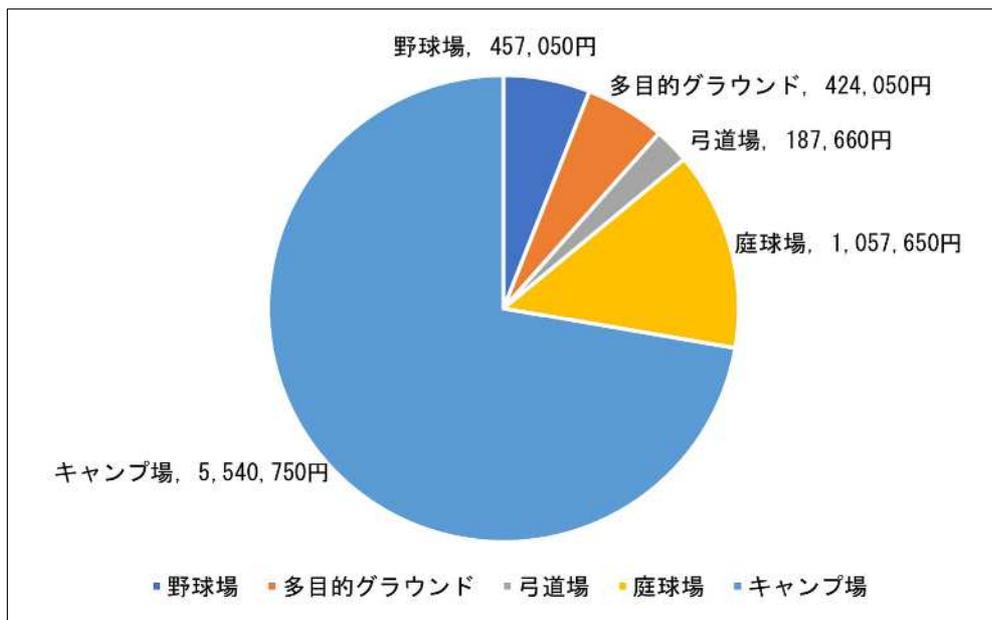


【目的ごとの利用者数及び利用件数（令和5年度）】

※令和5年度大曾公園有料施設事業報告書を基に作成

(4) 施設ごとの収入内訳（令和5年度）

- ・キャンプ場の収入が5,540,750円と最も高く、全体の収入の約7割を占めている。
- ・キャンプ場に次いで庭球場、野球場、多目的グラウンド、弓道場と続く。



【施設ごとの収入内訳（令和5年度）】

※令和5年度大曾公園有料施設事業報告書を基に作成

2.3 現地踏査まとめ

計画対象地の整備状況及び周辺地域の土地利用状況、地形、植生、景観等について把握するために現地踏査を行いました。現地踏査より、本公園の主要な課題や特徴を整理した現地踏査のまとめ及び、写真方向図は以下のとおりです。

【現地踏査まとめ】

①大曾公園北側入口	②駐輪場及び第2駐車場
	
<p>公園のメイン入り口であり、正面に多目的グラウンド、西側に管理事務所、東側に第1駐車場が隣接する。基本的に北側入り口付近から駐車場へアクセスする動線となっている。</p>	<p>駐輪場スペースは雨除けの劣化により薄暗い印象となっている。第2駐車場は砂利敷きとなっている。</p>
③多目的グラウンド周辺	④第3駐車場
	
<p>令和3年から4年にかけて整備され、温水プールが隣接する。温水プール東側には旧牧場や遊具広場が隣接しているが、温水プールが遮っており立地がわかりづらい。</p>	<p>第2駐車場と同様砂利敷きの駐車場となっている。一般の平日利用時には十分な台数となっているが、土日・祝日で多くの利用者がいる場合は、駐車場の不足が懸念される。</p>

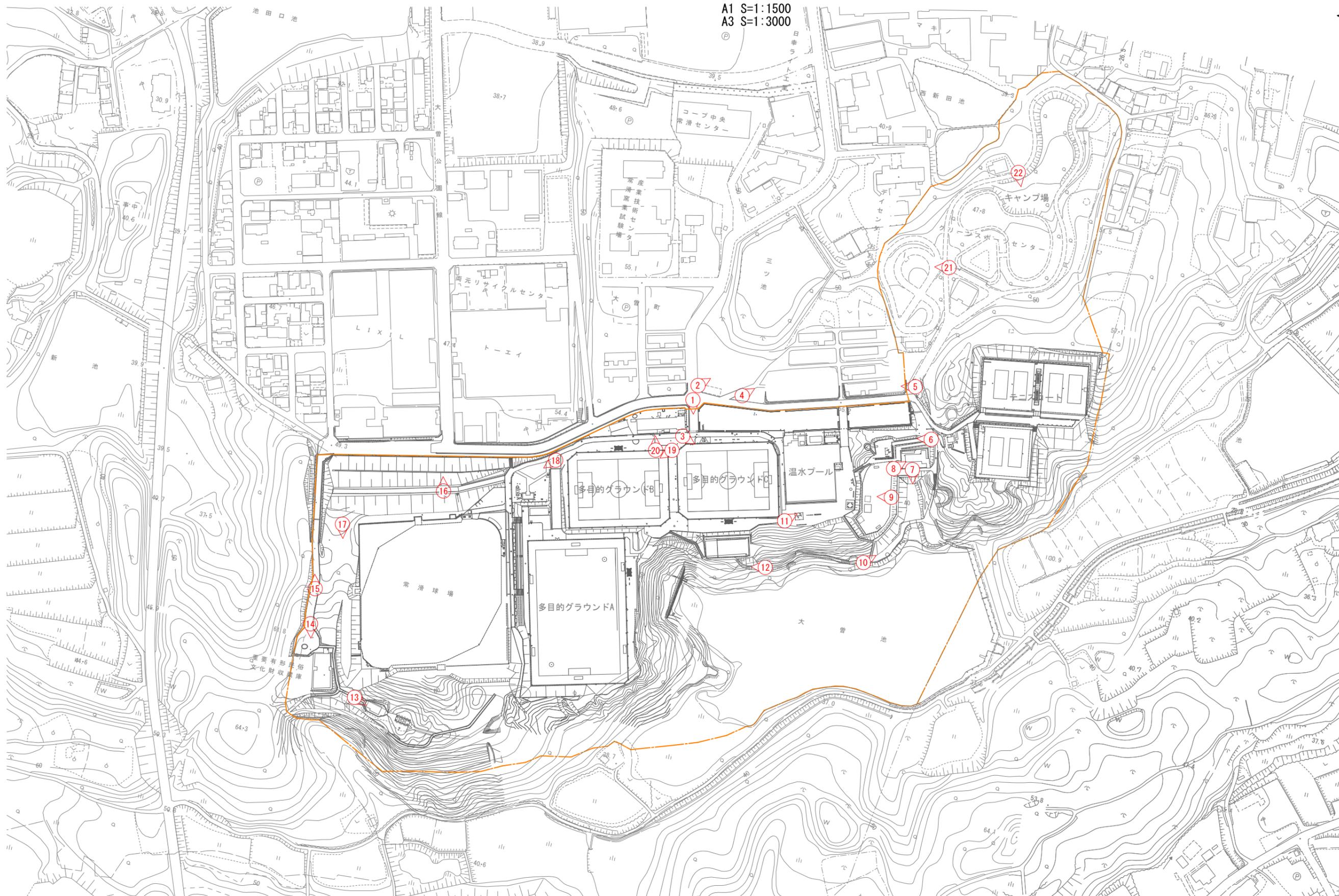
<p>⑤第3駐車場東側公営住宅</p>	<p>⑥温水プール東側周辺</p>
	
<p>公営住宅に居住する市民がおり、今後の再整備において配慮が必要である。</p>	<p>大木や植栽に囲まれた幼児広場となっている。傾斜を利用した滑り台やブランコが配置されている。</p>
<p>⑦大曾池北側棧橋周辺（大曾の谷）</p>	<p>⑧公園東側作業庫</p>
	
<p>湧水を利用した棚田では古代米を育てたり、湿地帯にはトウカイコモウセンゴケが自生する。大曾池が見渡せ、景色が良い空間となっている。</p>	<p>キャンプ場の薪などが保管されており、指定管理者による作業スペースとなっている。作業庫より南側は園路が狭いため、作業車の侵入が不可能。</p>
<p>⑨ミツバチ牧場（旧牧場跡）</p>	<p>⑩大曾池北側散策路周辺</p>
	
<p>かつては牧場であったが、現在は養蜂場や農園として整備されており、はちみつ搾りや収穫体験を行っている。温水プール東側の斜面下に位置するため、公園入り口からはアクセスがわかりづらい状況である。</p>	<p>大曾池とはフェンスで分断されており、池の活用はされていない状況である。構造物の劣化、木々の繁茂により見通しが悪く、暗い印象である。</p>

<p>⑪温水プール南側児童遊具</p>	<p>⑫弓道場南側散策路</p>
	
<p>温水プールの隣接により、公園の入り口からは見えづらく、樹木や草の繁茂により薄暗く圧迫感がある状況である。</p>	<p>弓道場側の擁壁と大曾池側の樹木や草の繁茂により昼間も薄暗い状況である。勾配や散策路の老朽化により歩きにくい。</p>
<p>⑬公園西側展望台周辺</p>	<p>⑭公園西側文化財収蔵庫周辺</p>
	
<p>展望台周辺は老朽化等の影響により現在立入禁止となっているものの、展望台からの景色は半田市街や伊勢湾方面まで見渡すことができる。</p>	<p>公園西側には文化財収蔵庫があり、くつろげるような広いスペースとなっているが、現在散策路以外に特に活用はされていない。</p>
<p>⑮公園西側散策路</p>	<p>⑯公園北側広域農道方面</p>
	
<p>大きく育った木々に囲まれ、緑を感じられる静かな散策路になっている。</p>	<p>公園北側には工場や住宅街が立地しており、飲食店などは見受けられない。公園利用者が多い土日・祝日は傾斜下道路への路上駐車が見受けられる。</p>

<p>⑰野球場北西側</p>	<p>⑱多目的グラウンドB西側トイレ</p>
	
<p>生育した大木や芝生が綺麗に整備されており、木陰も生まれ緑の潤いを感じられる場となっている。</p>	<p>再整備され令和4年11月より供用開始。多目的グラウンド周囲の園路も舗装されている状況。</p>
<p>⑲多目的グラウンドB</p>	<p>⑳管理事務所南側入り口</p>
	
<p>外周にはバーゴラ等が整備されており、グラウンド全体を見渡すことができる。一方で、木陰や日陰がなく、暑い日はテント等を持参する利用者が見受けられる。</p>	<p>管理事務所は老朽化が進んでいる。テニスコート、キャンプ場、野球場まで遠いため、レイアウトを含めた整備の検討が必要である。</p>
<p>㉑研修棟西側駐車場</p>	<p>㉒キャンプ場フリーサイト</p>
	
<p>以前は交通児童遊園として使われていたが、現在はキャンプ場利用者の駐車場として活用されている。車庫や道路はそのままとなっているため、駐車方法や車の誘導など課題がある状況である。</p>	<p>研修棟を中心にソロキャンプサイト、フリーサイトなどが整備されている。平日でも利用者が見受けられ、大曾公園の人気のある場となっている。</p>

写真方向図

A1 S=1:1500
A3 S=1:3000



2.4 本公園の長所や問題点の整理

公園の概要、利用状況、現地踏査の整理結果を踏まえた、本公園の長所や問題点として挙げられる要素は以下のとおりです。

【長所】

【公園全体】

- 市内唯一の運動公園
- 常滑 IC・半田 IC から車で約 10 分と市内外問わずアクセスが良い

【スポーツ・運動】

- 野球場や多目的グラウンドなど**充実した運動施設**
- 健康促進できる**温水プール**

【レジャー】

- 収入の約 7 割を占め、市内外問わず利用がある**キャンプ場**
- **収穫体験**ができる農園・養蜂場

【自然】

- 約 500 本もの桜や梅林などの**四季を感じられる樹木や花**
- 高低差の大きい**アンジュレーションのある地形**
- 野鳥を観察できる**大曾池**

【問題点】

【公園全体】

- スポーツ、キャンプ以外の**魅力的なコンテンツの不足**
- 最寄りバス停から徒歩 10 分と公共交通機関での**交通アクセスが悪い**
- 近隣の同規模公園と比較して、**施設規模や機能の不足**
- 各施設や機能の**連続性、回遊性がない**

【施設】

- 駐車場出入り口及び**収容台数が少ない**
- 供用開始 50 年を経て、**施設の老朽化**が著しい（特に管理事務所や展望台）
- 子ども向け**遊具の整備不足**
- 歩いて楽しい**散策路の整備不足**
- 休憩や見守りができる**日よけ空間の不足**

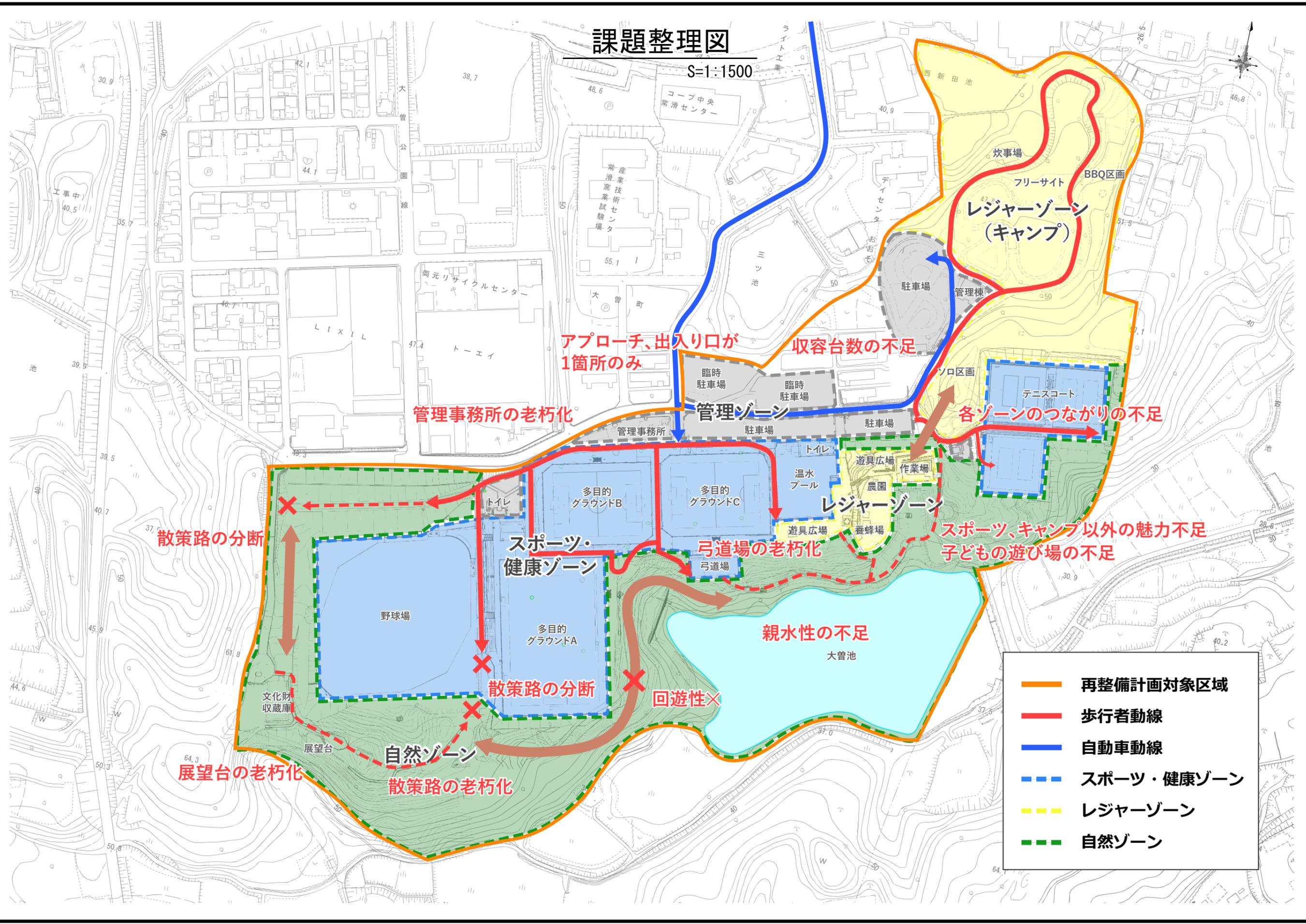
【自然】

- 樹木が生長し日差しが入らず暗く、見通しが悪いため**防犯面に支障**がある
- 地形や散策道に高低差があるため、現状のままでは**安全性・快適性に支障**がある
- 四季を感じられる樹木や大曾池などの**自然資源を十分に活かしてない**

次頁に現況の動線やゾーニング及び、計画上考えられる課題を整理した図を添付します。

課題整理図

S=1:1500



アプローチ、出入り口が1箇所のみ

収容台数の不足

管理事務所の老朽化

管理ゾーン

各ゾーンのつながりの不足

散策路の分断

スポーツ・健康ゾーン

弓道場の老朽化

スポーツ、キャンプ以外の魅力不足
子どもの遊び場の不足

親水性の不足

散策路の分断

回遊性×

展望台の老朽化

自然ゾーン

散策路の老朽化

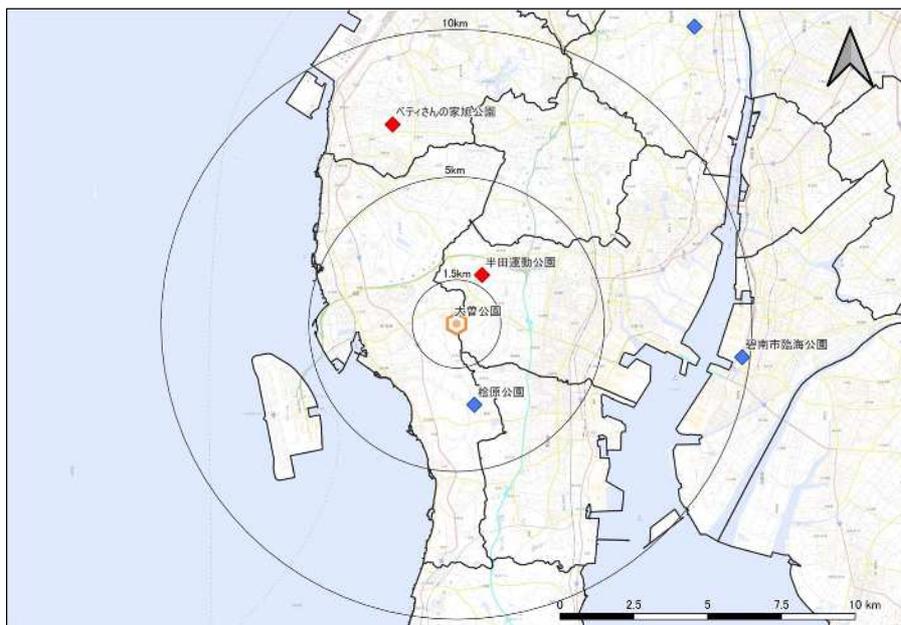
- 再整備計画対象区域
- 歩行者動線
- 自動車動線
- - - スポーツ・健康ゾーン
- - - レジャーゾーン
- - - 自然ゾーン

2.5 周辺公園の分析

本公園の再整備を検討するにあたり、周辺公園の施設規模や機能について比較分析を行いました。比較対象とする公園を「大曾公園より半径10km圏内に立地する面積10ha以上の運動公園及び総合公園」と設定し、面積や利用者数、駐車場台数、主要な施設の有無を確認しました。

周辺類似公園概要

公園名	大曾公園	半田運動公園	旭公園	碧南市臨海公園	桧原公園
公園種別	運動公園	運動公園	運動公園	総合公園	総合公園
自治体	常滑市	半田市	知多市	碧南市	常滑市
管理運営 (R7.1月現在)	指定管理	直営	直営	直営	直営
大曾公園との距離	-	1.5km	7.0km	10.0km	3.0km
面積	17.4 ha	26.7 ha	16.4 ha	12.0 ha	15.7 ha
駐車場台数	220 台	723 台	266 台	858 台	86 台
スポーツ					
陸上競技場		○			
サッカー	○	○			
野球	○	○	○	○	
テニス	○	○	○	○	
バスケ		○	○	○	
スケートボード		○			
弓道場	○				
体育館			○	○	
トレーニング室		○	○		
プール	○				
レジャー・運動					
キャンプ	○	○			
野外ステージ		○		○	
芝生広場		○	○	○	○
遊具広場	○	○	○	○	○
多目的広場		○	○	○	
ジョギングコース		○	○	○	
農園	○				
自然・憩い					
散策路	○	○	○	○	○
展望台	○			○	○
水景施設	○	○	○	○	○
花園		○	○		
ドッグラン				○	
その他施設	文化財収蔵庫	大池古窯		水族館	



【周辺類似公園位置図】

2.5.1 周辺公園の特徴

(1) 半田運動公園

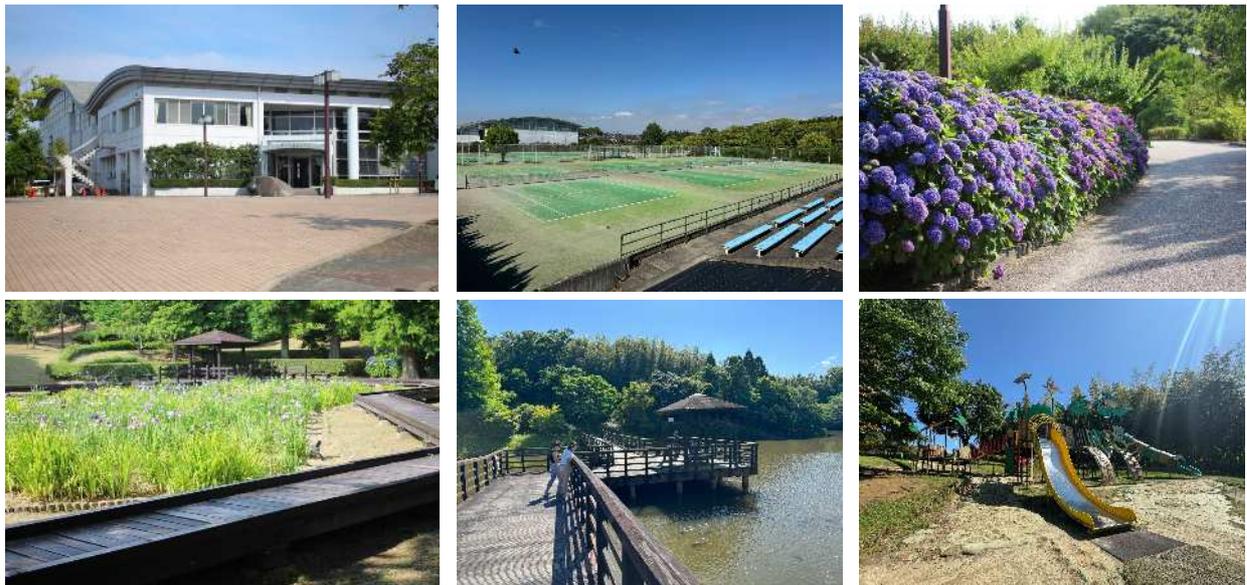
- ・ 3種公認の陸上競技場、127m×144mの多目的グラウンド等大型の施設から気軽に利用できるテニスコート、バスケットボール、トレーニング施設など多数の運動施設を利用可能
- ・ 大型複合遊戯施設群が2箇所を設置されており、子どもの年齢に合わせた遊び場の配置
- ・ バーベキューなどが楽しめるデイキャンプ場
- ・ 大型イベントやコンサートが行える野外ステージ
- ・ 芝生広場や自然の草木、花を楽しむ花の木園・さつき園
- ・ 園内を周遊できる幅の広いウォーキング、ランニングコース



【半田運動公園主要施設】

(2) 旭公園

- ・ 体育館、人工芝テニスコート、多目的グラウンド等様々な用途でのスポーツ利用が可能
- ・ 大型の複合遊具広場や小さい子も遊べるちびっこ広場
- ・ 雨天時にも遊ぶことのできる大型ドーム
- ・ 広大な芝生広場
- ・ 池からの風景を楽しむことのできる水上の東屋
- ・ 桜のライトアップや1年中楽しむことのできる四季折々の植物園



【旭公園主要施設】

(3) 碧南市臨海公園

- ・ 音と光で演出する大噴水、水遊びもできるじゃぶじゃぶ池
- ・ 大型の複合遊具広場やソリで滑る芝滑り場、ふわふわドーム
- ・ ナイター施設のある野球場、体育館
- ・ 園内に碧南海浜水族館



【碧南市臨海公園主要施設】

(4) 検原公園

- ・運動施設は無く、全体の9割が緑豊かな森林
- ・伊勢湾と三河湾を見渡せる展望台
- ・令和6年度、大型複合遊具を設置



【検原公園主要施設】

2.5.2 周辺公園の分析結果まとめ

周辺公園の分析結果からみた本公園の特徴は以下のとおりです。

△ 野球場や多目的グラウンドなど充実した運動施設

→周辺公園には天然芝のグラウンドやテニスコート等、より充実した施設が整備されている。

△ 健康促進できる温水プール

→温水プールがあるのは本公園のみであるが、かつては屋外プールも設置されており、水遊び空間として充実していた。一方で、周辺公園にはプールはないものの、水遊びができる環境が整っている。

○ 収入の約7割を占め、市内外問わず利用があるキャンプ場

→宿泊可能なキャンプ場は本公園のみであり、他公園と差別化する要素の一つである。

△ 収穫体験ができる農園・養蜂場

→本公園のみの特徴的な施設だが、年1回のみの実施であり、規模感は小さい。

△ 約500本もの桜や梅林などの四季を感じられる樹木や花

→特徴的であるが、同じく樹木や花が豊富な旭公園と比較すると、自然を巡るための園路が整備されておらず、樹木も密で鬱蒼としている。

○ 高低差の大きいアンジュレーションのある地形

→安全性・快適性の配慮が前提となるが、周辺公園にはあまり見られない特徴である。

△ 野鳥を観察できる大曾池

→周辺公園では池周りを巡ることのできる遊歩道が整備されており、池の水質も劣っているため、改善が必要である。

2.6 現況調査結果の分析まとめ

公園概要、利用状況、現地踏査からみた本公園の長所や課題の整理及び、周辺の公園分析を踏まえ、再整備が必要と考えられる要素は以下のとおりです。

【公園概要、利用状況、現地踏査からみた本公園の長所（抜粋）】

- 常滑 IC・半田 IC から車で約 10 分と市内外問わずアクセスが良い
- 野球場や多目的グラウンド、温水プールなど充実したスポーツ・運動施設
- 収入の約 7 割を占め、市内外問わず利用があるキャンプ場
- 収穫体験ができる農園・養蜂場
- 約 500 本もの桜や梅林などの四季を感じられる樹木や花
- 高低差の大きいアンジュレーションのある地形

【周辺公園の分析からみた本公園の特徴】

- 収入の約 7 割を占め、市内外問わず利用があるキャンプ場
- 高低差の大きいアンジュレーションのある地形



【再整備が必要と考えられる要素】

- ① 周辺にある類似する公園との差別化
- ② 豊かな自然を活かした新たな魅力あるコンテンツ
- ③ 子どもの遊び場の充実
- ④ 各エリアをつなぎ、豊かな自然の中で散歩やランニングができる散策路
- ⑤ 収入及び利用者の多いキャンプ場のさらなる充実
- ⑥ 休憩や見守りができる休憩スペース
- ⑦ 駐車場の増設

3. 市民アンケート調査

本公園の利用状況及び再整備に対するニーズを把握するため市民アンケート調査を実施しました。

3.1 調査概要

調査期間や調査方法等、市民アンケート調査の概要は以下のとおりです。

【大曾公園に関する市民アンケート調査の概要】

調査期間	令和6年7月31日（水）～令和6年8月15日（木）
調査方法	市の公式LINE、X（旧Twitter）によるWeb回答方式
回答者数	999人
調査内容	問1～2：回答者属性 問3～5：大曾公園の利用状況について 問6～7：再整備内容について 自由記述

3.2 調査結果及び考察

市民アンケート調査結果及び分析は以下のとおりです。

【回答者属性について】

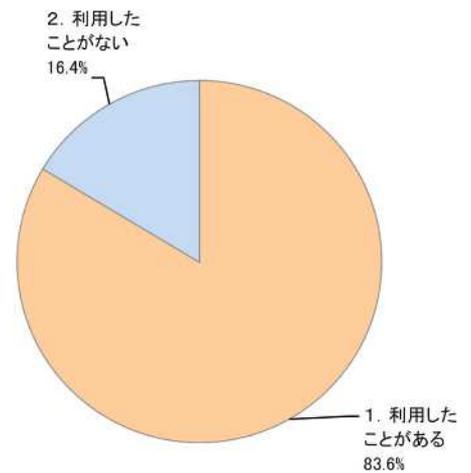
問1.年齢を教えてください。(n=999)

選択肢	件数	比率
1. 20歳未満	10	1.0%
2. 20歳代	54	5.4%
3. 30歳代	249	24.9%
4. 40歳代	289	28.9%
5. 50歳代	228	22.8%
6. 60歳代	116	11.6%
7. 70歳以上	53	5.4%
計	999	100.0%



問2.大曾公園を利用したことはありますか。(n=999)

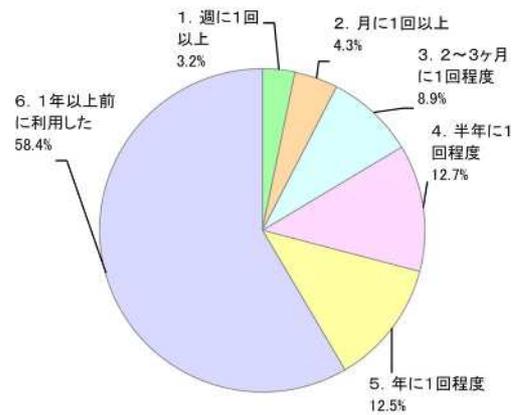
選択肢	件数	比率
1. 利用したことがある	835	83.6%
2. 利用したことがない	164	16.4%
計	999	100.0%



- ・回答者のうち、8割以上が「利用したことがある」と回答している。

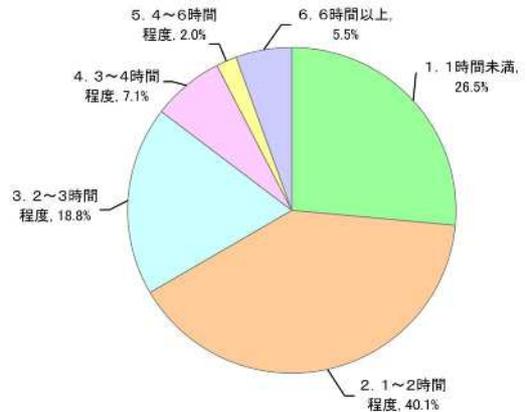
【現在の利用状況について】※問2で「1. 利用したことがある」と回答した人のみ回答
 問3.年間の利用頻度を教えてください。(n=835)

選択肢	件数	比率
1. 週に1回以上	27	3.2%
2. 月に1回以上	36	4.3%
3. 2～3ヶ月に1回程度	74	8.9%
4. 半年に1回程度	106	12.7%
5. 年に1回程度	104	12.5%
6. 1年以上前に利用した	488	58.4%
計	835	100.0%



問4.利用する際の滞在時間を教えてください。(n=835)

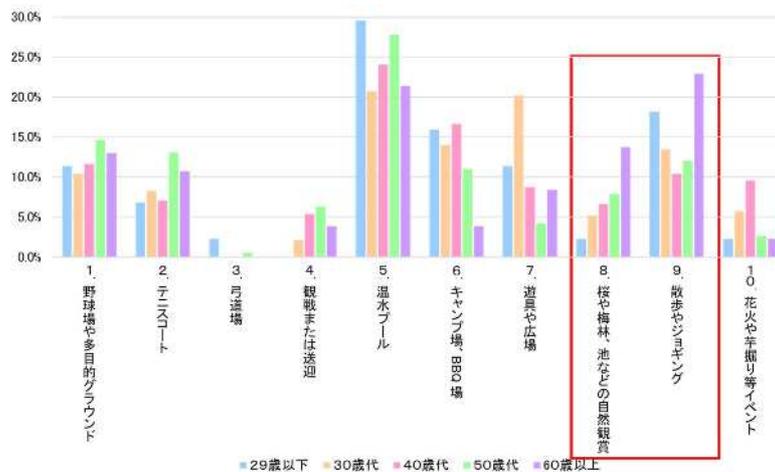
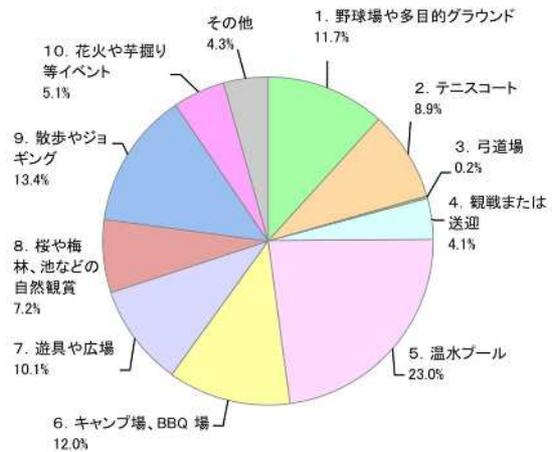
選択肢	件数	比率
1. 1時間未満	221	26.5%
2. 1～2時間程度	335	40.1%
3. 2～3時間程度	157	18.8%
4. 3～4時間程度	59	7.1%
5. 4～6時間程度	17	2.0%
6. 6時間以上	46	5.5%
計	835	100.0%



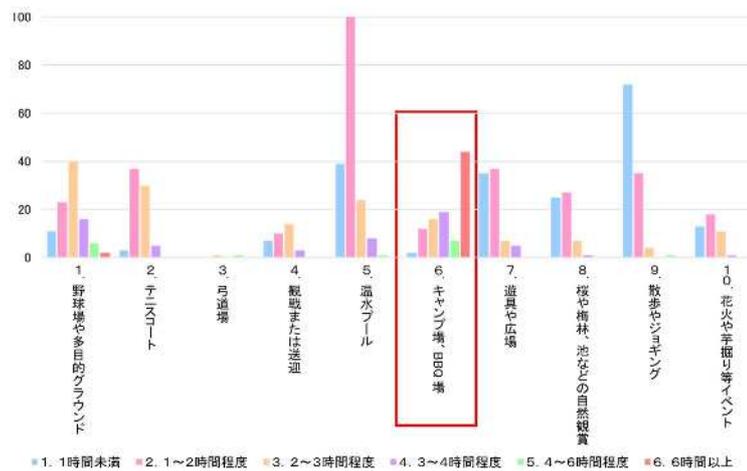
- ・1年以上利用していない人が約6割であり、月1回以上利用している人が1割に満たないことから、大曽公園を日常的に利用する人が少ないことが分かる。
- ・滞在時間が1～2時間程度の利用者が約4割と最も多く、約7割近くが2時間未満であることが分かる。

問5.利用する際の主な目的として最もあてはまるものをひとつ選んでください。(n=835)

選択肢	件数	比率
1. 野球場や多目的グラウンド	98	11.7%
2. テニスコート	74	8.9%
3. 弓道場	2	0.2%
4. 観戦または送迎	34	4.1%
5. 温水プール	192	23.0%
6. キャンプ場、BBQ 場	100	12.0%
7. 遊具や広場	84	10.1%
8. 桜や梅林、池などの自然観賞	60	7.2%
9. 散歩やジョギング	112	13.4%
10. 花火や芋掘り等イベント	43	5.1%
その他	36	4.3%
計	835	100.0%



年代・利用目的のクロス分析



滞在時間・利用目的のクロス分析

- ・利用目的のうち、温水プールが最多だが23.0%程度であり、様々な目的で利用されている。
- ・弓道場の利用が0.2%であり、最も低いことが分かる。
- ・年代・利用目的のクロス分析から、60歳以上の利用者は他の世代と比較して、「サクラや梅林、池などの自然鑑賞」や「散歩やジョギング」を目的に訪れる割合が高いことが分かる。
- ・滞在時間・利用目的のクロス分析から、「キャンプ場、BBQ 場」の滞在時間が他の利用目的と比較して長いことが分かる。

【今後の大曾公園について】

問6.どんな公園になるとよいと思いますか。(n=999)

	とてもよい	ふつう	よくない
樹木や池に囲まれた自然豊かな場所で過ごすことができる公園	680	289	30
子どもたちが楽しむ遊具がたくさんある公園	672	265	62
自然を活かしたアクティビティが楽しめる公園	661	282	56
自然の中で散歩やジョギングができる公園	694	279	26
イベントや地域行事が開催される公園	494	413	92
大屋根や芝生広場がある公園	677	267	55
夜間でも楽しめる公園	248	381	370
子どもたちが水遊びできる公園	589	303	107
動物やペットと楽しめる公園	342	448	209
落ち着いた場所で読書や食事を楽しめる公園	471	400	128
スポーツ施設が充実している公園	475	420	104

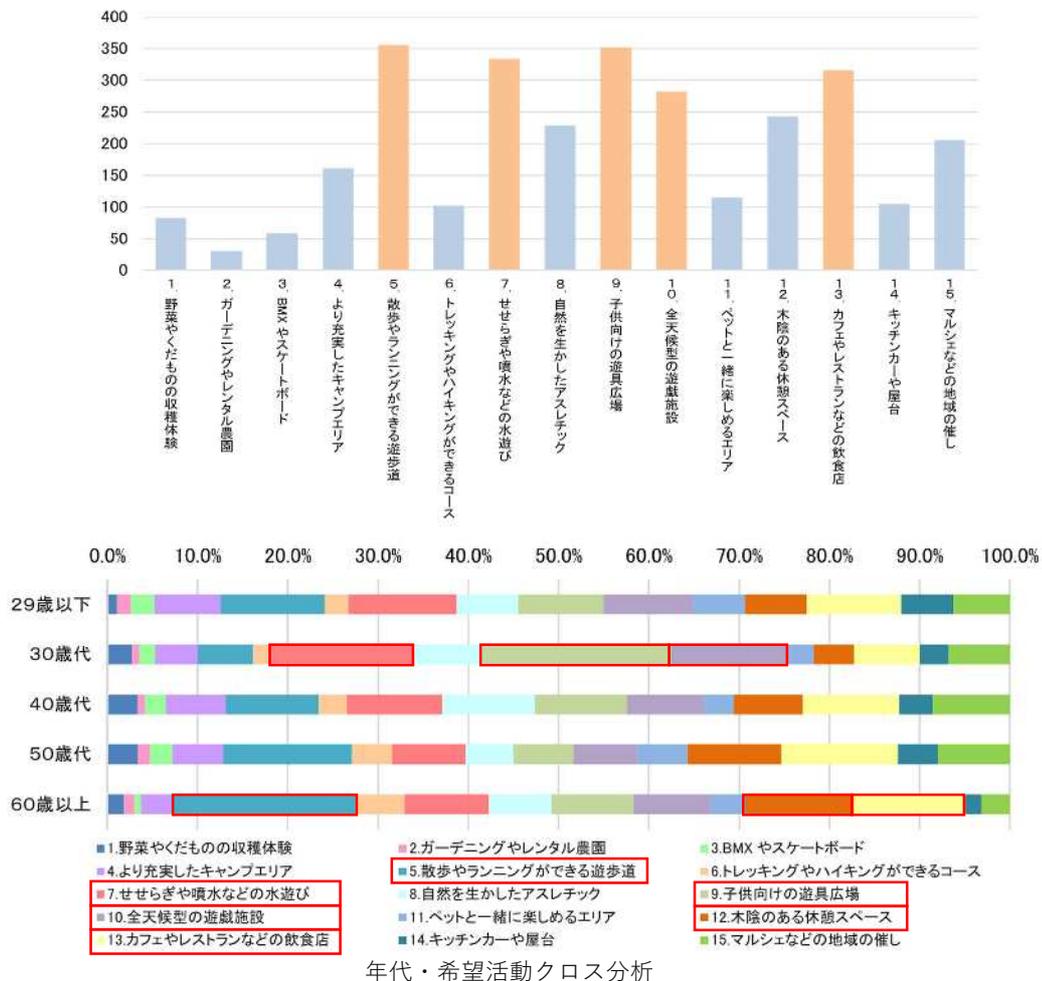


- ・「樹木や池に囲まれた自然豊かな場所で過ごすことができる公園」「子どもたちが楽しむ遊具がたくさんある公園」「自然を活かしたアクティビティが楽しめる公園」「自然の中で散歩やジョギングができる公園」「大屋根や芝生広場がある公園」において、「とてもよい」の割合が高く、自然や憩い、遊びへのニーズが高いことが分かる。

問7.こんな活動ができるといいなと思うことを3つ選んでください。(n=2,997)

選択肢	件数	比率
1. 野菜やくだものの収穫体験	83	2.8%
2. ガーデニングやレンタル農園	31	1.0%
3. BMX やスケートボード	59	2.0%
4. より充実したキャンプエリア	161	5.4%
5. 散歩やランニングができる遊歩道	356	11.9%
6. トレッキングやハイキングができるコース	102	3.4%
7. せせらぎや噴水などの水遊び	334	11.1%
8. 自然を生かしたアスレチック	229	7.6%
9. 子供向けの遊具広場	352	11.7%
10. 全天候型の遊戯施設	282	9.4%
11. ペットと一緒に楽しめるエリア	115	3.8%
12. 木陰のある休憩スペース	243	8.1%
13. カフェやレストランなどの飲食店	316	10.5%
14. キッチンカーや屋台	105	3.5%
15. マルシェなどの地域の催し	206	6.9%
その他	23	0.9%
計	2,997	100.0%

その他意見	件数
バスケットゴール、コート	1
全天候型のスポーツ施設	2
人工芝のサッカーグラウンド	1
動物と触れ合える場所	3
展望台の整備	1
高齢者向けの健康遊具	1
花見	1
イベントが出来るステージ	2
プール施設	1
プレーパーク	1
釣り堀	1
弓道場の修繕	1
宿泊を伴うキャンプ場	1
野球の室内練習場	1
お金をかけずに整備できるもの	1
カワセミが来るような浅い池	1
無回答	3



・30歳代の子育て世帯が水遊びや遊具広場、全天候型の遊戯施設といった「子どもの遊び」、60歳以上の高齢者が遊歩道やカフェ、休憩スペースといった自然や休憩等「憩い」の要素を選択している傾向がある。

【自由回答まとめ】

(1) 自由回答内訳 (n=294)

回答者数 999 人のうち、294 人から自由回答の記載が得られました。また、自由回答を類似する内容ごとに分類すると下表のとおりとなりました。

なお、複数の内容が含まれている回答については、それぞれの分類ごとに振り分けました。

分類	件数
全体のコンセプトについて	73
子どもの遊び場について	34
自然・健康・キャンプ場について	51
サービス施設や管理について	37
運動施設、プールについて	37
駐車場、アクセスについて	34
その他（要望、感想など）	53

自由回答のうち、問6,7で回答の多い、遊具や水遊び、広場などの「遊び場」や「散策路」についての回答が多かったです。その他に、駐車場やトイレなどの施設関係の改善、草木等の管理についての回答も多かったです。

以下に分類ごとの主な意見内容の抜粋を記載します。

□全体のコンセプトについて (n=73)

自由回答の主な意見内容（抜粋）	
30歳代	大曾公園はまとまった台数の車が止めれる駐車場を待つ市内唯一の公園。整備をするのであれば、他の公園よりも優先し、他の市町に劣らないものにするべき。
50歳代	自然豊かな場所にあるので特に遊具を置いて遊べるというよりは自然を親しみながらその中で遊びを作れるような樹木あふれる森の公園にして欲しいです。
50歳代	近くにある半田運動公園と同じようなものは必要ない。
50歳代	どの世代でも楽しめて、また次回も来たい公園にして欲しい。
50歳代	大曾公園にいけば楽しいよね、遊べるよね、と思える場所になって欲しい。キャンプ施設も、もっと広く周知して市街からも利用のあるような充実した施設にして欲しい。

□子どもの遊び場について (n=34)

自由回答の主な意見内容（抜粋）	
30歳代	以前は週末によく行っていました。遊具が減り、行く回数が減りました。子どもたちが思い切り楽しめる遊具や水場があると行きやすいです。
60歳代	旭公園のような自由に散策ができ四季の花々が見れて、半田運動公園のようにアスレチック型の遊具があるところで、市外からの方でもあすこの公園に行きたいと思ってもらえるような場所になるといい。
50歳代	噴水やじゃぶじゃぶ池の設置をして欲しい。木々に囲われている秘密基地感のある遊具だと夏場も暑くなくてみんな遊びに来れると思う。
40歳代	室内メインで大型遊具のある知多半島一の室内公園。
30歳代	水遊びできる公園が市内にないので、近隣の市へ行っています。水遊びできる広場が絶対欲しいです。

□自然・健康・キャンプ場について (n=51)

自由回答の主な意見内容 (抜粋)	
60歳代	今でも自然豊かなキャンプ場が人気なので、もっと充実させたらいいなと思います。
30歳代	近隣の知多市旭公園や東浦町の於大公園のような、自然に囲まれた穏やかな公園ができれば素敵だと思います。散歩やウォーキング・ランニングができるように整備してもらえると嬉しいです。
50歳代	自然が豊かで、キャンプや、自然を利用した遊びが、楽しめる癒しの空間が良いです。
40歳代	現キャンプ場に簡易で良いのでシャワールームを設置して欲しい。
40歳代	うっそうとしていて気持ち悪いので自然をいかすのはいいけれど、見通しよくしてほしい！
70歳以上	大曾池を周回できる自然コースがあれば素敵。

□サービス施設や管理について (n=37)

自由回答の主な意見内容 (抜粋)	
30歳代	夜になると人気が無くて怖いと感じる方があるので明るい街灯や夜になると映えるような照明など夜にも行きたくなる環境になってほしいです。
40歳代	暑い日も、ゆっくりできるように日陰で休める場所が多くあると、お弁当を持って遊びに行けるのでうれしいです。
40歳代	薄暗い印象であり子供やペット連れで行きたいと思いません。椅子や明るい休憩スペースがたくさんあるといいです。
50歳代	遊歩道のところどころに休憩できる屋根付きのスペースがあるといいなと思います。
40歳代	とても素敵な公園なので、もう少し管理が行き届いているともっと行きたくなる。

□運動施設、プールについて (n=37)

自由回答の主な意見内容 (抜粋)	
20歳代	テニスコートを改修して欲しいオムニコートに。
30歳代	大人から子ども、乳幼児連れでも使いやすく衛生的なトイレを整備して欲しい。
30歳代	テニスコートを改修して欲しいオムニコートに。
40歳代	ゴーカートの復活。
40歳代	他の地域の温水プールのように充実した『また行きたい』と思えるような温水プールにリニューアルしてほしいです。

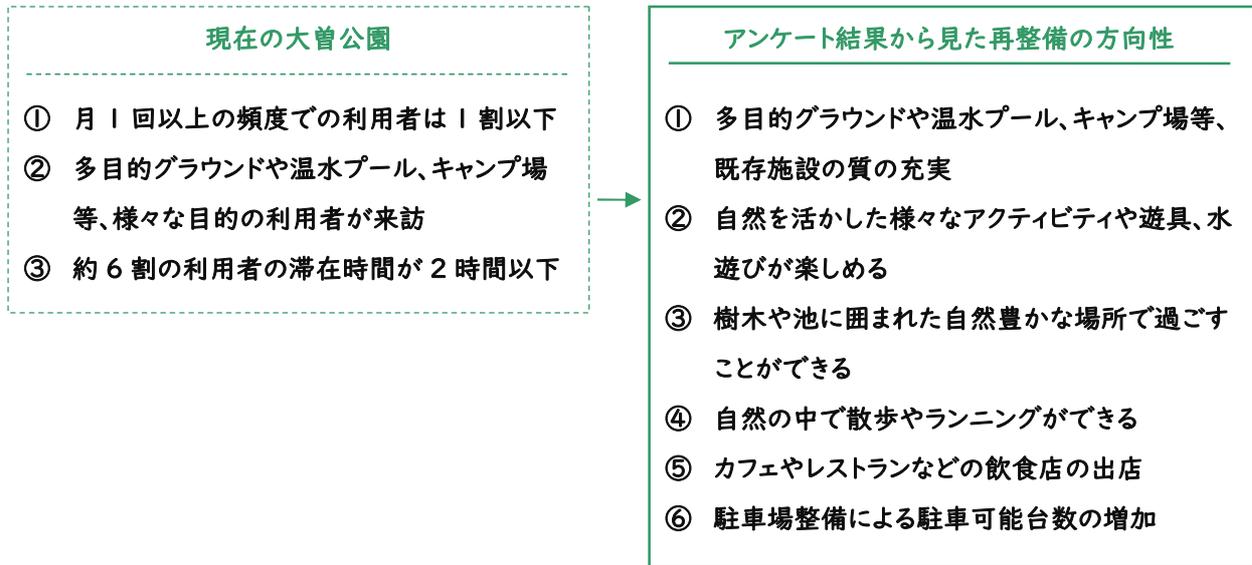
□駐車場、アクセスについて (n=34)

自由回答の主な意見内容 (抜粋)	
20歳代	車を持っていない方でもアクセスしやすいようにしてほしい。
40歳代	駐車場も狭いので、子供が遊べる広場も作るとスポーツで来た人達が困ると思います。何か発展させるのであれば駐車場は必須です。
40歳代	駐車場がサッカー等のグラウンドを使う子供の保護者でいっぱいでは停められなくて迷惑。団体で利用するならどこか遠くに停めて欲しい。
40歳代	砂利駐車場をアスファルトへ！プール裏の虫食いの高い木は危険！植え替えるか手入れが難しければ撤去された方が安全だと思います！
40歳代	路上駐車が酷すぎる。まずそこからなんとかしてほしい。

3.3 分析まとめ

アンケート調査から得られた本公園の現在の利用状況と再整備の方向性は以下のとおりです。

【現在の利用状況と再整備の方向性】



4. 再整備基本計画

4.1 計画内容の検討及び設定

4.1.1 再整備コンセプトの設定

現況把握及びアンケート調査から得られた再整備の方向性を踏まえ、新たな大曾公園に向けた再整備のコンセプトを下記のとおりとしました。

(1) 再整備コンセプト

自然の中で楽しむアクティブパーク

～子育て世代に愛される、魅力あふれる公園へ～

多目的グラウンドや野球場、キャンプ場等今ある施設の老朽化対策を実施しつつ、新たな利用者層を意識し、自然の豊かさをベースとした大曾公園の新たな「顔」となる空間づくりを行います。

また、公園内の各ゾーンがつながる工夫を行い、公園を訪れた人々が、当初の来園目的とは違う利用方法や活動を発見し、「また来たい」と思うきっかけとなることを目指します。

今回の再整備において、現況把握及びアンケート調査の結果を踏まえ、**全世代の人々がより楽しめる公園**という前提を踏まえつつ、**市内外の子育て世帯**を新たな利用者層と設定しました。

<新たな利用者層>

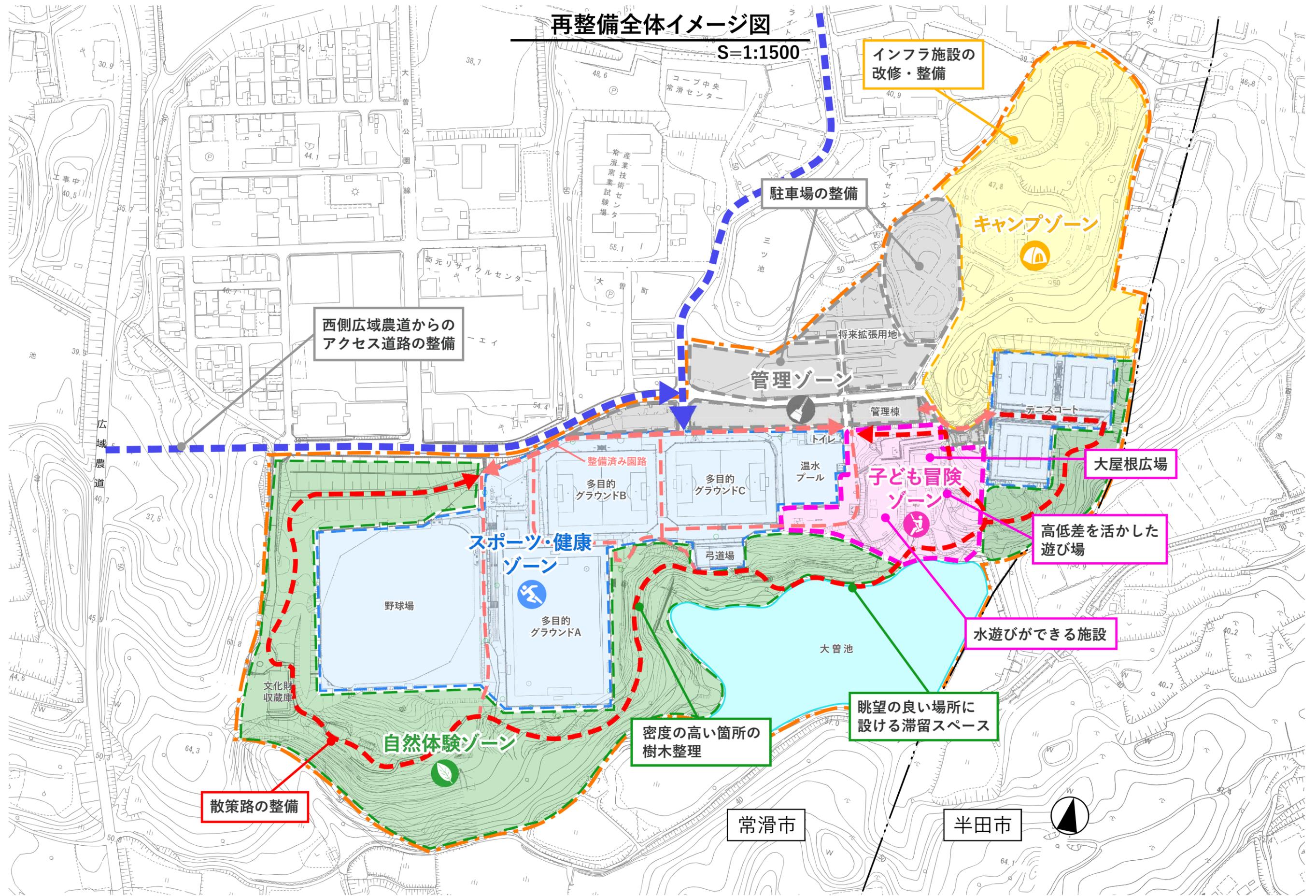


市内外の子育て世帯

次頁以降に再整備計画の全体イメージ図及びイメージパースを添付します。

再整備全体イメージ図

S=1:1500



(2) イメージパース



【全体概要図】



【子ども冒険ゾーンイメージ】

※イメージパースはあくまで完成イメージを掴むためのものです。
実際には、更に魅力的な空間になるよう工夫を凝らしていきます。

(3) 再整備へ向けた基本方針

現況把握及びアンケート調査から得られた再整備の方向性を踏まえ、新たな大曾公園に向けた再整備のコンセプトを次のとおりとしました。

① 新たなにぎわいの核をつくる

低未利用地である温水プールとテニスコート間のスペースや野球場周辺のスペースを活用し、新たな利用者層を意識した空間づくりを行います。子育て世帯をターゲットとし、樹木や地形を生かした遊び場や水遊び、アスレチック等、親子で1日中公園を満喫できるよう多様なコンテンツが体験できる計画とします。

- 樹木や地形を活かした遊び場
- 夏場に水遊びができる施設
- 大屋根のある遊び場 など

② 現状の公園施設をより充実させる

多目的グラウンドやテニスコート、野球場等、現在の施設を維持しながら、休養施設や便益施設など、今ある公園の魅力のさらなる充実を図ります。

- キャンプエリアの充実
- 快適に観戦できる日よけ空間
- 利用しやすいキャンプ場環境の整備 など

③ 回遊性・アクセス性を向上させる

再整備による利用者の増加に対応できるよう、また園内を分かりやすく安全に利用出来るように回遊性・アクセス性の向上を図ります。

- 駐車場の拡張
- 密度の高い箇所の樹木整理
- 園内を周遊できる散策路 など

(4) 各ゾーンの考え方

前項までの検討を踏まえ、本公園のゾーニングについて設定しました。ゾーニングの検討にあたっては、各ゾーンの機能を大まかに想定しつつも、これらが重なり、自由で多様な使い方が展開されることをイメージしています。

①子ども冒険ゾーン

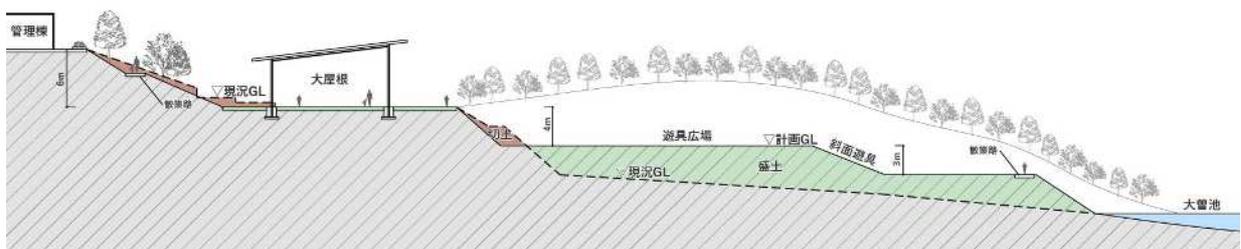
大曾公園の「新たなにぎわいの核」として位置づけ、樹木や地形の活用によって、走る、登る、滑る等、身体をダイナミックに使って遊ぶことのできる大曾公園ならではの遊び環境の充実を図ります。

【整備を検討する具体的な機能】

- 自然に溶け込んだアスレチック遊具
- 夏場に水遊びができる施設
- 高低差を活かした遊び場
- 大屋根のある遊び場
- だれもが楽しめる遊び場



【子ども冒険ゾーンの平面イメージ】



【子ども冒険ゾーンの造成イメージ（南北）】

②自然体験ゾーン

約500本の桜や梅林、大曾池などの豊かな自然を楽しみながら園内を周遊したり、要所でアクティビティができる空間づくりを行います。

【整備を検討する具体的な機能】

- 四季の変化を感じられる散策路の整備
- 密度の高い箇所樹木の整理
- 眺望の良い場所に設ける滞留スペース
- 自然を活かした憩いの場の設置
- 野球場西側の有効活用
- 案内サインの設置



③キャンプゾーン

本公園の収入の約7割を占めるキャンプ場のさらなる利用促進を目指し、低利用である研修棟やその周辺の土地を活用して多様なニーズに対応した機能の充実を図ります。

また、旧交通広場を駐車場として改修することで、利用者を受け入れるための基盤を整えます。

【整備を検討する具体的な機能】

- キャンプエリアの充実
- より利用しやすい環境の整備
- インフラ施設の改修・整備
- 既存駐車場の改修



④スポーツ・健康ゾーン

運動公園の主要施設として現在の機能を維持しつつ、今後の再整備の進捗状況を見ながら多目的化を視野に入れた施設改善を検討していきます。また、スポーツ利用以外にも広い空間を生かした柔軟な利用を行うとともに観戦スペースを充実させ、応援に来た人や一般の来園者もプレーを見て楽しめる空間づくりを行います。

【整備を検討する具体的な機能】

- 既存施設の機能維持を基本とした施設改善
- 快適に観戦できる日よけ空間



⑤管理ゾーン

再整備により今後、利用者のさらなる増加が見込まれることから、公園を利用する上でベースとなる駐車場の整備や管理棟、トイレ等、老朽化している施設の更新を進めます。

【整備を検討する具体的な機能】

- 駐車場の拡張
- 老朽化施設の更新（管理棟、トイレ等）
- 西側広域農道からのアクセス道路の整備

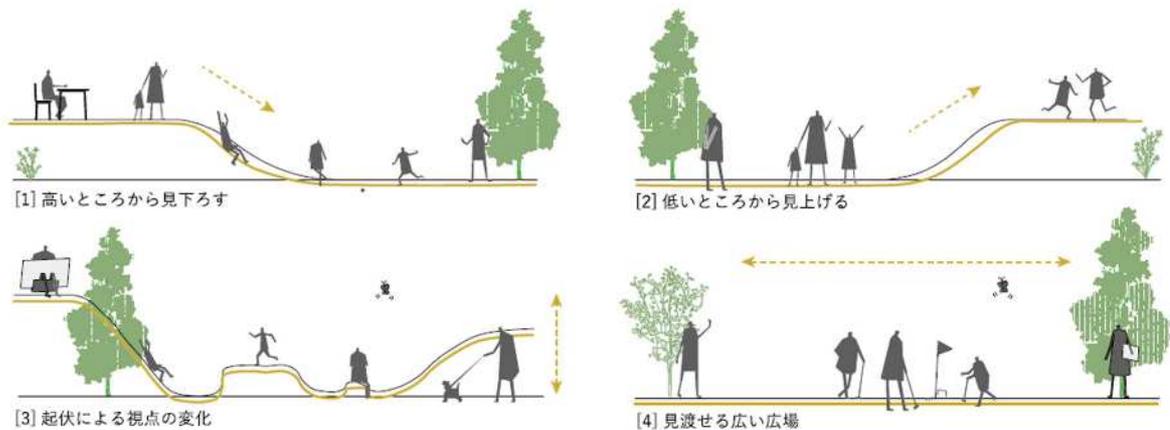


4.1.2 空間構成の考え方

再整備コンセプト及び再整備へ向けた基本方針を踏まえ、公園全体の空間構成や機能配置の考え方、公園としてのまとまり等、再整備にあたって配慮すべき具体的な方向性は以下のとおりです。

① 高低差や植栽等を活かして空間を緩やかにつなげる

- ・現在ある高低差を、各ゾーンを分断するものとしてではなく、空間としてつなげることで、それぞれの相互利用を促進し、利用目的に応じた空間の雰囲気づくりや演出に活用します。
- ・空間内の高低差を活かした起伏により、空間を見渡す場を設けたり、起伏によって変化や面白みのある遊び場や遊歩道をデザインします。



【高低差を活かした空間イメージ】

② 空間をつなぐコミュニケーションの場をデザインする

- ・園内のそれぞれの空間を個別に完結させるのではなく、異なる利用や活動がされている各空間を、休憩機能を兼ねた「たまり」でつなぎ、来園者がお互いの存在や行動を感じたり、知り合うきっかけとなる場を設けます。



【「たまり」のイメージ】

③豊かな自然を保全しメリハリの利いた植栽により公園を美しくする

- ・園内を薄暗い印象とさせている外周部に繁茂した雑木等を整理し、明るく見通しのよい空間とします。
- ・ウォーキング等日常的な利用促進を図るため、四季の変化を楽しむことができるよう外周部の植栽計画の見直しを図ります。



4.1.3 動線計画

再整備に当たり、歩行者動線及び車両動線の2つの観点から見直しを行いました。

(1) 歩行者動線

歩行者動線は、公園内側の各ゾーンをつなげる「内側園路」と、公園外側を巡る「外側散策路」の2つの動線を計画します。

①内側園路

単なる動線ではなく、各ゾーンがつながり、休憩やコミュニケーションのきっかけとなるたまり場としての役割をもつように整備を行います。

「たまり場」

- ・スポーツ観戦や子どもの様子を見守りや友人との会話、ランチなど、快適に過ごすことのできる日よけ空間を要所に設けます。

「歩行性」

- ・園路幅及び横断勾配、縦断勾配等、バリアフリーに配慮しながら、地形に沿った緩やかな傾斜や曲線等、変化のある園路とします。

「わかりやすさの向上」

- ・カラー舗装やサイン等により動線のわかりやすさを向上させます。
- ・照明やサイン等による誘導と演出を行います。

②外側散策路

自然散策や眺望など、動線整備にとどまらず、周辺の資源を活かした散策したくなる歩行者空間とするとともに、高低差を活かしたアクティビティとしても利用できるような整備を行います。

「歩行性」

- ・散策路の舗装については、自然の山道を多少歩きやすくした簡易な構造を考え、植栽や池等、周囲の環境に溶け込むように景観舗装とします。また、園路幅及び横断勾配、縦断勾配等、バリアフリーに配慮しながら、地形に沿った緩やかな傾斜や曲線等、変化のある園路とします。

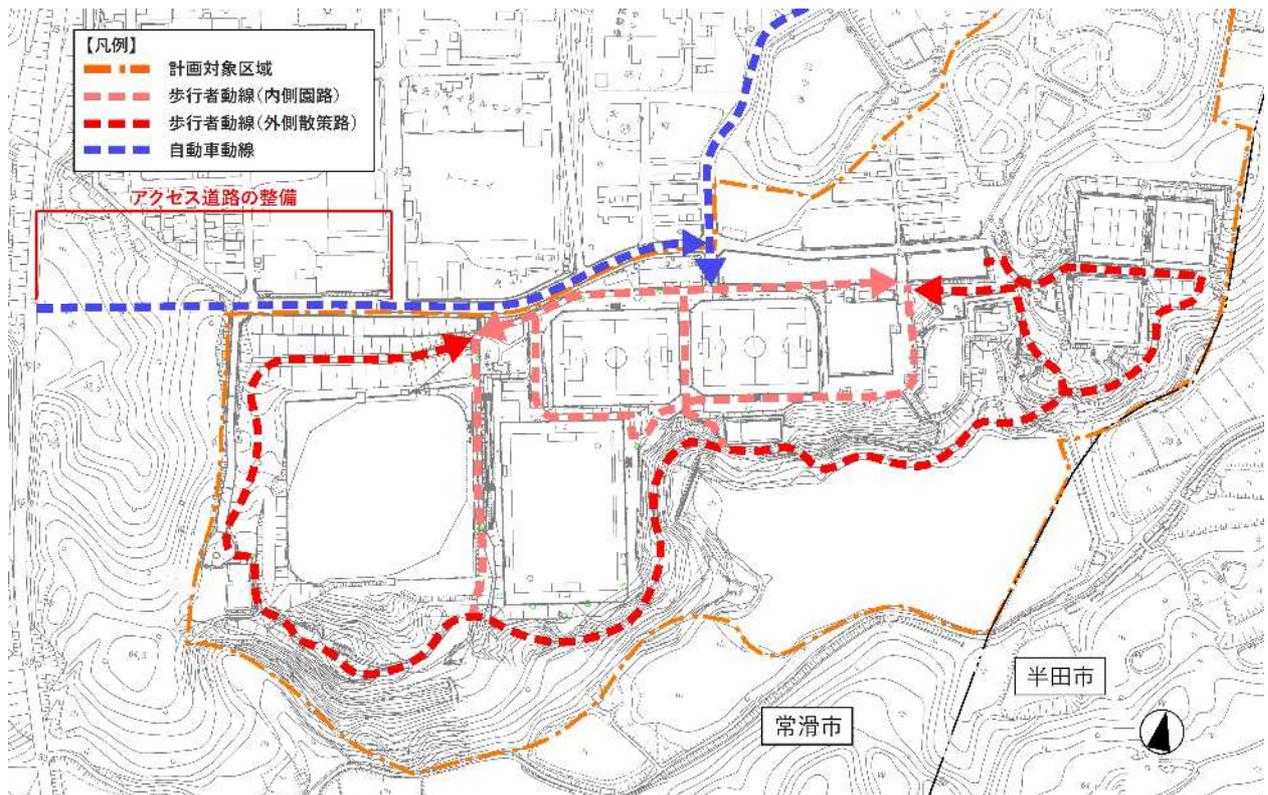
「わかりやすさの向上」

- ・照明やサイン等による誘導と演出を行います。
- ・繁茂した雑木等を整理し、明るく見通しのよい空間とします。

(2) 車両動線

現在、車両による主な動線は、敷地北側の愛知県道 34 号半田常滑線からのみであり、その他方面からのアクセス手段を確保するため、敷地西側広域農道からアクセスが可能な道路の整備を検討します。

各動線の概要及び動線計画図は下図のとおりです。



【動線計画図】

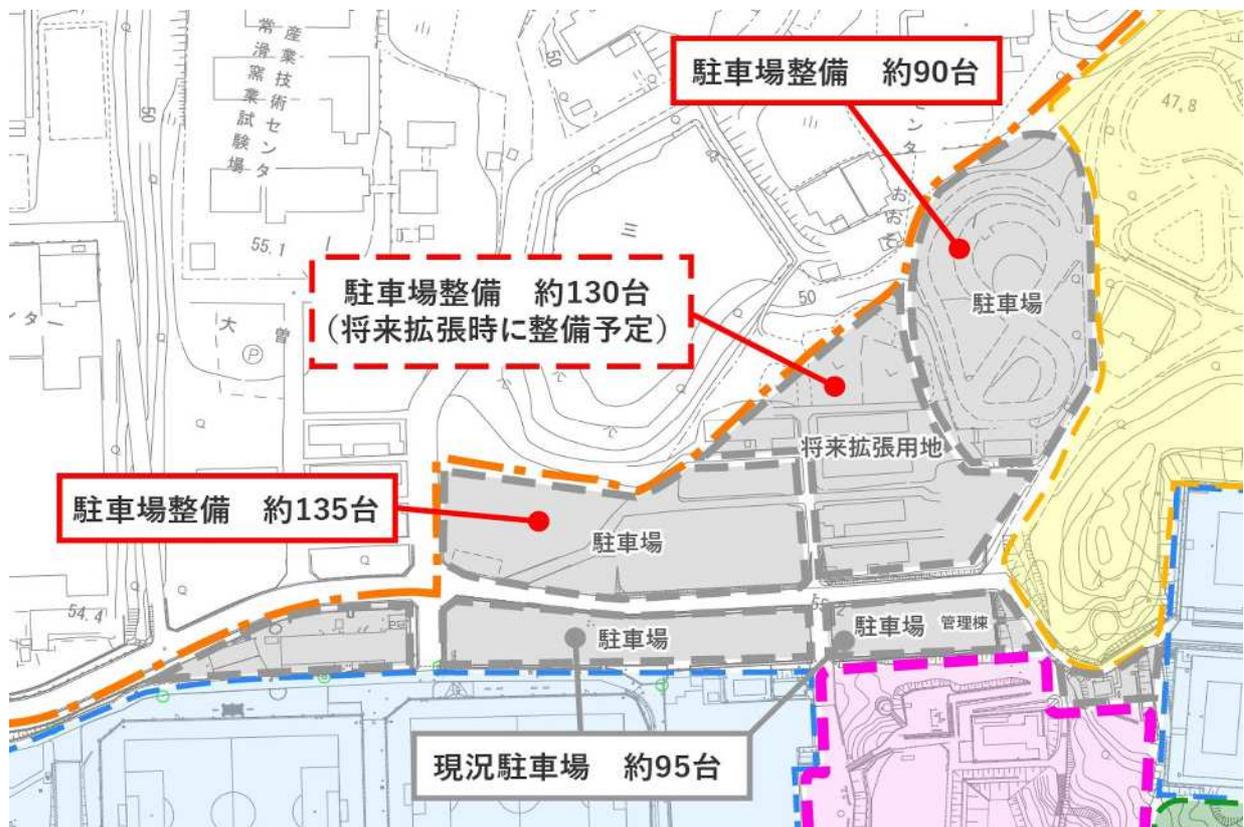
4.1.4 その他の計画

再整備により今後さらなる利用者の増加が見込まれることから、利用者が快適に利用できるよう、前項までに記載した方向性の他、管理施設やサービス施設等の機能向上を行います。各施設の整備方針は下記のとおりです。

(1) 駐車場計画

【整備の方向性】

- 再整備による利用者の増加を考慮し、駐車可能台数及び利便性を高めるため、現況の砂利敷き駐車場及び、キャンプ場西側にある旧交通広場を駐車場として整備します。
- 現況駐車可能台数である**約220台**から、再整備により**約450台**駐車可能な駐車場整備を目指します。（将来拡張用地を含む。）



【駐車場整備イメージ】

(2) サイン計画

【整備の方向性】

- ・ サイン計画はユニバーサルデザインを基本とし、周辺景観との調和やデザインの統一化に配慮した計画を行います。
- ・ 利用者が快適に目的地まで到達できるように、主要動線上に誘導案内看板等を整備します。



【サインイメージ】

(3) トイレ

【整備の方向性】

- ・ 子ども冒険ゾーン付近である温水プールに隣接するトイレをリニューアルします。
- ・ 誰もが快適に利用できるようにバリアフリー対応とします。



【トイレイメージ】

4.2 再整備及び管理運営の事業手法の検討

本公園及びキャンプ場（グリーンスポーツセンター）では現在、指定管理者制度による管理・運営が行われています。

再整備による一層の公園の魅力向上を目指すとともに、本計画では民間事業者の資金やノウハウを活用し、効率的かつ効果的な公園整備と管理・運営体制の構築を検討します。

【運営方式の比較】

制 度		内 容	事業期間
直営方式		<ul style="list-style-type: none"> ● 自治体が自ら管理・運営を行う方式です。 ● 運営や施設の維持管理の一部を民間に業務委託する場合があります。（清掃、警備等、施設の維持管理業務を民間委託する場合も多い。） 	—
民間 活 力	指定管理者制度	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政が民間事業者等を指定管理者として指定し、使用許可を含む公の施設の管理権限を包括的に委託する制度です。 	5年 (標準期間)
	DBO方式	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共が資金調達を行い、民間に公共施設等の設計・建設の一括発注と、維持管理・運営等の一括発注を包括して発注する手法です。PFIと類似していますが、民間が資金調達をしない点が異なります。 ● 民間事業者に、長期間にわたる管理運営を見通した設計・建設を行わせる場合や、性能発注による効率化、コスト削減を図る場合に適した方式とされる 	10～20年 程度
	PFI方式	<ul style="list-style-type: none"> ● 民間の資金、経営能力等を活用した効率的かつ効果的な社会資本の整備、低廉かつ良好なサービスの提供が主目的の事業です。 	7～30年程度
	公募設置管理制度 (Park-PFI制度)	<ul style="list-style-type: none"> ● 飲食店、売店等の収益施設（公募対象公園施設）の設置または管理と、その収益を活用して、周辺の園路、広場等の公共部分（特定公園施設）の整備・改修等を一体的に行う事業者を、公募により選定する制度です。 ● 事業者が設置する施設から得られる収益を公園整備に還元することを条件に、事業者には都市公園法の特例措置（設置管理許可期間や建ぺい率等）がインセンティブとして適用されます。 	20年以内
	設置管理許可制度	<ul style="list-style-type: none"> ● 公園管理者が公園管理者以外の者に公園施設の設置、管理を許可できる制度です。 ● 設置管理許可を受け、都市公園に設置されている施設は、自動販売機や売店、飲食店、宿泊施設等の便益施設の他、運動施設等があります。 	10年 (更新可)

4.2.1 民間事業者プレサウンディング調査

官民連携手法による施工や管理、運営などに実績のある民間事業者における本公園の再整備に係るニーズを把握するため、プレサウンディング調査を実施しました。なお、実施に際しては、市民アンケート調査結果や利用状況などについても説明することで、より詳細な意見を聴取できるように努めました。

(1) 調査概要

a) 目的

本公園の再整備にあたって、民間事業者の専門的な視点から構想の方針や魅力向上に資する導入施設や機能を整理するとともに、長期的な視点で財政支出の削減を図るために、現時点での官民連携手法の可能性を把握します。

b) プレサウンディング調査実施対象

本公園の再整備において想定される官民連携による管理・運営の内容を勘案して、実績のある民間事業者を3社選定しました。なお、この選定はあくまでも現時点での再整備計画に基づくものであり、今後も継続的にサウンディング調査を実施し、民間事業者との対話を行っていく予定です。

c) 実施期間

令和6年12月17日～令和7年1月31日

d) サウンディング項目

- 再整備基本構想の方針やコンセプトに関する意見について
- 本公園の魅力が向上すると考えられる施設や機能について
- 事業参入を検討する上での条件について
- 再整備に際しての官民連携手法について

(2) 調査結果

a) 再整備基本構想の方針やコンセプトに関する意見について

- ・ 遠隔地にあっても、様々なアクティビティを提供することで集客が可能。
- ・ 1日中楽しめる施設づくりが重要。
- ・ 市外からの利用者も多いことから、「常滑」を含めた公園名や、親しみの持てる「愛称」の募集など、公園名に関する提案があった。

b) 本公園の魅力が向上すると考えられる施設や機能について

(賑わい、集客施設について)

- ・ 新たな魅力創出の要素として、大型遊具や水系施設の設置が上げられた一方で、水系施設については、ランニングコストの増大が懸念される。
- ・ 自然を活かした遊びとしてジップラインやアスレチックの提案があった。一方で、事業採算性の観点から、現時点では自治体が初期整備を負担し、運営は民間企業が行う形が適切と考えられる。
- ・ カフェやレストラン等飲食店の出店については魅力的である一方で、地元の有名店や知多半島初出店といったオンリーワンかつ集客力のある店であれば本公園でも出店が考えられるが、現状の公園利用状況では事業採算性上厳しい。

(キャンプ場について)

- ・ 既存キャンプ場を日帰り用、野球場西側の景観が優れた場所を宿泊用として用途を分ける等の活用が考えられる。
- ・ RVパークについては、全国的に整備事例が少ないため需要はある。
- ・ サウナやシャワー施設の設置については、衛生面の観点から保健所の規制があり、定期的な清掃や常駐スタッフの配置等が必要であるため、管理運営が難しい。また、衛生面から風呂等の形式ではなくシャワーのみの設置が現実的と考えられる。

(その他)

- ・ 駐車場の増設が必要。
- ・ 夏場の暑さ対策として、ランニングコストが安価なミストシャワーの導入が提案された。
- ・ 子どもたちを見守りながら親が涼める場所やスポーツ観戦できる場所等、公園内の様々な場所に日陰のある空間の整備が必要。
- ・ イベントによる集客ポテンシャルは十分にあるが、駐車場不足や交通アクセスに問題あり、改善が必要。

c) 維持管理に関する意見について

- ・ 樹木剪定等の園内の維持管理のため、管理用通路が必要。
- ・ 薪や備品を保管する倉庫が必要。

d) 再整備に際しての官民連携手法について

- ・ 事業手法に関して、事業採算性の観点から Park-PFI は可能性として低く、指定管理者制度（公設民営）が適しているとの方向性となった。

4.2.2 まとめ

再整備にあたり官民連携の可能性を検討したところ、現時点では、事業採算性の観点から Park-PFI 等民間資金を活かした手法の実現が難しいため、引き続き指定管理者制度により管理運営を行っていきます。加えて、イベントやマルシェといった多様化する住民のニーズにより効果的に対応するために、指定管理者のノウハウを活かしやすい柔軟な管理の仕組みを検討する必要があります。

また、今後再整備を進める中で本公園にさらなるにぎわいが生まれた場合、改めて管理運営手法の検討をします。



【本公園でのイベントの様子】

5. 再整備スケジュール

本事業の事業完了までのスケジュールは下表のとおりです。

再整備に向け本計画策定後、各種調査から始まり、基盤整備から全体施設計画、各施設の基本設計、実施設計、再整備工事を進めてまいります。

また現在、キャンプ場として利用されているグリーンスポーツセンターを大曾公園の区域として拡張を行う予定です。再整備を進めていく上では、社会情勢や市民ニーズ等の変化に伴い柔軟に対応する必要があるため、事業の進捗管理を適宜行い、魅力ある公園づくりに取り組んでいきます。



【再整備スケジュール】

